

実施日時	平成27年8月30日（日） 午前8時45分～11時10分	
訓練会場	国立第三小学校 ※この他自主訓練として、下谷保防災センターで実施	
参加者数	国立第三小	432名
	下谷保地域防災センター	93名
	合計	525名
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">①煙体験②初期消火③出火・延焼防止パネル展示（防災安全課職員説明）④消防署展示ブース（住宅用火災警報器、家具転倒防止器具）⑤アルファ米作成⑥防災グッズ展示⑦マイコンメーターの復旧⑧災害用伝言ダイヤル（171）体験⑨起震車体験⑩自衛隊による災害対策資機材等の展示⑪スタンドパイプによる放水体験⑫ペットの災害対策⑬警察署によるロープ結索指導⑭応急救護（三角巾）⑮消防少年団演技披露⑯避難所運営訓練<ul style="list-style-type: none">・体育館の安全点検・体育館の避難居室の設営 （通路、要配慮者居住区を設けてブルーシートを敷設）・図上訓練による本部への要請方法等の確認・訓練参加者へ向けた避難所開設や避難所生活のポイント説明⑰歯科医師会による災害時の口腔ケアの講演⑱災害対応図上訓練（市部長職、避難所運営委員）⑲避難所参集訓練（指定参集職員）	

総括

今回の総合防災訓練では、①市民の防災意識及び災害対応力向上、②市内では震災時の火災延焼危険が高い東地域を対象に大地震発生時の出火・延焼防止対策の2点を目的とした。

まず、①市民の防災意識及び災害対応力向上について、体験型訓練及び各種展示ブースの見学を14設け、災害発生時の行動と事前対策を学んだ。今年度は、煙体験を教室で実施することにより実践的な体験としたこと、業者の協力により防災グッズを展示したこと、ペットの飼い主へ向けた災害対策ブースを設置したことが例年と異なる訓練であった。これらの訓練は、次年度以降も引き続き実施するよう検討したい。また、歯科医師会による講演で災害時の口腔ケアを取り上げ、参加者にも好評であったようである。口腔ケアと同様にトイシや常備薬などは、食糧や水よりも備蓄の意識がやや低いように思われるため、今後市民に対して啓発していきたい。

次に、②市内では震災時の火災延焼危険が高い東地域を対象に大地震発生時の出火・延焼防止対策について、防災安全課にてA1で3枚のパネルを作成し、国立市の被害想定や東の地域危険度ランキングを掲示するとともに、個人及び地域で対策をとるよう啓発した。パネル展示では防災安全課職員1名が説明員として市民に対して説明を行った。

なお、事前広報は市報8/20号掲載のほか、東及び富士見台一丁目地域の自治会、三小・一中の児童生へのビラの配布、市HP、くにたちメール配信、Twitter、LINE、ジェイコム多摩でのテロップ放送を行い、訓練当日も参集職員により広報車による広報を実施した。

次回以降の検討課題事項としては事前広報（市報など）でタイムスケジュールを記載しなかったため参加者が体験できなかった訓練があった可能性もあったこと、関係機関及び協定締結団体との連携に係る訓練内容をさらに増やしさらなる連携強化を図ることが考えられる。

以上